

2020年若獅子旗争奪『第27回学童低学年秋季大会』実施要綱

- ① 目的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚えて、挨拶や礼儀を学ぶ
- ② 大会名称 若獅子旗争奪『第27回学童低学年秋季大会』
主催：文京区少年軟式野球連盟
後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ
協力：世田谷区少年野球連盟、中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟
- ③ 実施日 10月4日10日11日18日24日25日 11月1日3日8日14日15日
- ④ 大会会場 文京区後楽少年野球場 1面（文京区後楽1-6-25）
文京区六義公園運動場 2面（文京区本駒込6-16-10）
- ⑤ 参加資格 ・男女共に小学4年生以下の編成で、大会日程に対応できる単独チーム
- ⑥ 試合方法 ・試合時間は、二回戦まで60分を過ぎたら新しい回に入らず均等回の得点で勝敗を決める（勝ち逃げ禁止規則は適用しない）三回戦以降は時間制限なしで5回まで行う
・本投間は14M、塁間は21Mで行う。試合球はナガセケンコーJ号（本部で用意する）
・ベンチはトーナメント表の若い番号が1塁側、攻守は開始直前にジャンケン
・すべて3回以降7点差でコールド成立。日没や雨天の場合は3回で成立。
・同点の場合は1回のみタイブレーク方式（無死一・二塁、継続打順）を実施し、決着がつかない場合は抽選。なお、準決勝以降は決着がつくまで行う
・試合中は、バッター、ランナー、コーチ（選手）はヘルメットを着用のこと
捕手は防護用ヘルメット、マスク（スロートガード付）、ファウルカップを着用のこと
・投手投球数は1日60球以内で、60球に達した場合はその打者が打撃完了するまで投球ができる。また一度退き野手となった場合、60球に達していなければ再登板できる
・幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が10得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代（チェンジ）とする。また、20点差がついた場合は、その時点で試合終了とする（文京低学年ルール）
・外野金網フェンス1段目と2段目の境より上部に直接当たったフェアー打球は本塁打とする（後楽少年野球場のみ）
・チームのユニホームを着用し、指導者背番号（28～30番）をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める
・ボークについては1回目から宣告する
・グラウンドのルールについては別途に定める
・その他は公認野球規則、全軟連特別規則、各会場ローカルルールに準ずる
- ⑦ 試合結果 ・連盟ホームページに掲載
・週明けの火曜日または木曜日などに「東京新聞」と「東京中日スポーツ」に掲載
- ⑧ 日程確認 ・雨天の場合の当日確認や日程確認 → AM7:00に連盟ホームページで確認のこと
※すべて非常に水はけの良いグラウンドで、雨が早朝に止めば大会を実施します！
なお、電話の問い合わせは一切対応しません
- ⑨ 連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnbb.jp>